

# 頼りにしてます。 頼りにしてください。

.....  
センターに  
会員登録したみなさん  
お話を聞いてみました  
.....

## 利用会員



早々と登録を終えた伊藤さん(右)と石井さん

**仕**事を探している間、幼稚園に通っている3歳の子どもを見てもらえたらと思い登録。会社訪問したり、面接したり、なかなか子どもの送り迎えもできないものですから...。保育所は仕事をしていないと利用できないし、頼りにしています。

伊藤裕美子さん(広面)

**休**日も仕事があるし、お姉ちゃんたちも部活などで家は留守がちになってしまいます。保育所に通う4歳の子どもを休日だけでも預かってもらえたら助かります。

石井扶美子さん(八橋)

## 協力会員



チャイルドママくらぶ  
の会長・館岡辰子さんと  
メンバーのみなさん



**県**の子育てサポーター講習を終了した仲間グループを結成。20~60代のメンバー24人が、今までの育児経験を活かし、社会参加をしようと集まっています。さっそくセンターの協力会員にも登録。みんなで楽しい育児イベントも企画中です。育児援助に関する意見は人それぞれ。「人に預けるよりもっと親子の関係を深めた方がいい」、「男性や職場が育児と疎遠になってしまう」など、心配する声も聞こえます。でも、育児に不安を感じるお母さんたちを応援してあげたいし、信頼関係ができてお友だち同士になれたら素敵だな。



子どもたちの成長を見守って  
あげたい...

利用料は1時間500円

利用会員は育児の援助が必要になつたらまず、センターのアドバイザーに連絡します。定期的な利用でもその都度必要です。そして、アドバイザーは活動できる協力会員と連絡をとり、利用会員に紹介します。協力会員と利用会員は、事前に話し合いや電話などで打ち合わせをしてから、子どもを預けます。

保育所へお迎えをお願いする場合は、利用会員は保育所へ提供会員が行く旨を連絡しなければいけませんし、協力会員も会員証を見せて身分を証明する必要があります。

活動が終了すると、協力会員は活動報告書を利用会員に提示し、利用会員は内容を確認したうえで料金を支払います。利用料は1時間五百円。

必要があれば、交通費やおやつ代、夕食代なども実費で支払うこととなります。

また、各地区ごとに会員同士の連絡を調整するサブリーダーも配置する予定です。アドバイザーと連絡がとれない土日や、地域性を考えたベアリングなどに大きな力を発揮することになります。

## 全員が保険に加入

会員のみなさんにとって一番心配なのは、けがなどの事故。万が一に備え、センターでは一括して保険に加入します。

しかし、トラブルはお金だけで解決できることばかりではありません。会員同士が話し合い、アドバイザーの助言や調整を受け入れながら、解決することになります。

## アドバイザー



センターの要(かなめ)、アドバイザーのみなさん。保育士や教師として活躍した経験を活かしてお手伝いします

## 協

力会員には、子育て中の若いお母さんから年配のかたまで、幅広い年代のかたが登録しています。利用会員は、「急な利用に備えて」と話すかたが多く、中にはお父さんの申し込みも...。どうやら、仕事と子育ての両立のために利用するかたが多そうです。

センターへの関心は高く、私たちも緊張気味ですが、アドバイザーとして会員同士のやりとりがスムーズにできるよう頑張りたいですね。